

こころ医療福祉専門学校佐世保校  
平成 29 年度第 2 回教育課程編成委員会議事録

【日 時】平成 29 年 11 月 19 日（日）13：00～13：40

【会 場】こころ医療福祉専門学校佐世保校 4 階 会議室

【委 員】出席：田中秀樹（長崎県柔道整復師会佐世保支部）、井手浩二（いで整骨院）  
山頭正代（あんじゅ鍼灸院）  
廣瀬典治、舘川大輔、中村裕也、初村修平

（敬称略）

1 開会の辞（司会 舘川大輔）

本会の開会目的及び配布資料の説明を行う。

2 委員の紹介（司会 舘川大輔）

各委員の紹介を行う。

3 学校長挨拶（校長 廣瀬典治）

平成 29 年度第 2 回教育課程編成委員会を開催する。委員の皆様には日頃より本校の教育方針にご理解とご支援をいただき、誠に感謝している。本会の第 1 回目を 5 月に開催させていただいたが、その節には貴重なご意見、ご教示をいただき、誠に感謝している。また、これまでに各学科において分科会を実施させていただき、貴重なお時間、ご意見に感謝する。

本日の中心議題は、柔道整復科については平成 30 年度の新カリキュラムへの移行に関する課題や問題点になるかと思う。健康鍼灸科については今年度から募集停止であるため、新カリキュラムの対象になる学生はいない。来年度 3 月の閉科までの指導のあり方について、またその後についてのご意見、ご教示をいただければ幸いである。

公私ともにご多用な中の貴重な時間をお借りすることになり誠に恐縮だが、この時代や業界、社会のニーズに沿った質の高い卒業生を社会に送り出すために、皆様方の忌憚のないご意見、ご教示をいただければ幸いである。本日はどうぞよろしくお願いする。

4 柔道整復科（学科長 舘川大輔）

（1）教育計画

平成 30 年度からカリキュラムが変更となり、変更届を 9 月下旬に県の学事振興課へ提

出した。

変更点としてまず1つ目は、時間数と単位数だ。時間数は2400時間以上から2750時間以上、単位数は85単位以上から99単位以上へ変更となっている。

変更点2つ目は時間割の変更で、90分2コマ・45分1コマから、90分の3コマになる。

変更点3つ目として、新カリキュラムとは直接関係はないが、学科内容をわかりやすくするために、柔道整復科からスポーツ柔整科へ名称を変更する。

変更点4つ目は学年暦とカリキュラムである。カリキュラムを白、青、黄に分けており、白は現在の教科、青は厚労省より内容を指定されて追加した教科、黄は時間数増加のために追加した教科である。右側に「新」・「規程」とあるが、「規定」は厚労省から定められている単位数であり、「新」は規定以上の新カリキュラムの単位数となっている。科目と時間数に関しては、長崎校の柔道整復科と合わせている。

添付している学年暦は仮となっている。専門学校スポーツ大会の日は学校を休校にしなければならないが、日程がまだわかっていない。学年暦の赤が定期試験日、黄が試験返却日である。平成29年度までは半期の授業が試験週も入れた17週だったが、平成30年度からは試験週を抜いた16週となる。

## (2) 質疑応答

田中) 平成30年度の新カリキュラム変更に伴う、学校としての学生へのメリットとデメリットを具体的に教えてほしい。

舘川) 柔道整復科のビジョンは、「国家試験合格と医療福祉の分野で社会に貢献できる柔道整復師を育成する。」である。①医療人としての心を育てる。②挨拶・心配りができる。③他人を思いやる気持ちを育む。④今から何になろうとしているのかを思い描かせる。以上4つのことを、授業や面談の中で学生に伝えていく。

メリットは国家試験合格率の向上だ。時間数の増加により、以前と比較して国家試験対策の科目や内容が充実するからである。また、国試対策だけでなく実技や手技の時間に充てることもできる。旧カリキュラムではできなかったことを通常授業で行い、技術の獲得を図る。デメリットは、時間数が増えることによる拘束時間の延長である。ただ、これが適用されるのは平成30年度からであるため、入学してくる対象者には比較対象がなく、実際のデメリットはそこまで大きなものではない。

井手) 講師の確保についてだが、次年度からは新1年生と2、3年生の授業時間にずれが生じるため、講師の数が足りるのか心配だ。

舘川) 旧カリキュラムの学生も、新カリキュラムと同じ時間割となる。旧カリキュラムの学生は、授業内容等は変わらないが、時間割のみ変更となる。今までは2.5コマを月

曜から金曜まで実施していたが、時間割を新しくすることによって週に2回、5限がない日が出てくる。その空いた時間に、トレーナー部の活動や補講を充てることができる。時間割を組むまでは、旧カリキュラムの学生にはデメリットだと感じていたが、そういったメリットがある。教員の確保については、新カリキュラムと旧カリキュラムが同時に進むことになるが、すでに平成31年度、32年度分を作っている。講師によっては変則的なコマ数になることもあるが、不足にはならない。

田中) 国家試験対策以外で追加された教科はどんなものがあるのか。

舘川) 旧カリキュラムは3年生になってから国試対策をしていたが、新カリキュラムでは前倒しで実施する。また、認定実技審査の項目が平成30年度より変わる。実技審査は変わらないが、整復審査は現在の27項目から32項目に変更になる。3年生になって練習を始めたのでは間に合わないため、2年生より授業に取り入れる。また、年度ごとに基礎教科の復習を行う。

田中) 整復審査の時間も長くなるのか。

舘川) そうだ。広い教室で一問一会場の二会場を用意することになる。

井手) 先生も学生も拘束時間が長くなり大変だ。

## 5 健康鍼灸科 (学科長 中村裕也)

### (1) 教育計画

閉科に伴って、30年度のカリキュラム変更はない。国家試験について、閉科ということで国家試験対策が手薄になるのではないかと懸念されたが、1年生がいないため、今まで以上に3年生へ手厚い対応ができています。閉科への不安感についても教員全員でフォローを行っている。全員合格を目指して今年も全力を尽くしたい。

学習環境については、図書の貸し出しシステムを変更し、より学校図書を利用しやすいようになっている。

卒業生会について、閉科後も集まる機会や連絡網を作り、連携ができるようにして、年に12回集まれるようにしたい。閉科によって学習環境が悪くなったり、学生から不満が出るようなことがないようにしたい。

### (2) 質疑応答

山頭) 健康鍼灸科も柔道整復科のように授業時間数等は増えたりするのか。

中村) 長崎校は柔道整復科と同じように変更となる。

山頭) 充実した授業になるのか。

中村) 今まででは昼夜間で授業時間の差があったが、それが少なくなる。

## 6 全体質疑応答

田中) 長崎校は新カリキュラムの要件をクリアしているのか。

館川) クリアしている。佐世保校は半期を 16 週かけて行うが、長崎校は 2.5 コマを 15 週で行う。夏期と春期の長期休暇中に集中講義を行うことで、要件を満たすことができる。一日の授業時間は短い、休みは削られることになる。

田中) 平成 30 年度の入学試験はすでに終わっているのか。

館川) まだだ。全部で 6 回ある。

田中) 入学数が確保できないのは大変だ。

館川) まだ募集しているところだが、現在 18 名が入学予定だ。これからもっと増える事を期待している。

## 7 閉会の辞 (司会 館川大輔)

以上で本委員会を終了する。